

2023 年 8 月 3 日

報道関係者各位

三井不動産株式会社

「三井アウトレットパーク マリンピア神戸建替え計画」建築着工 アウトレットがスケールアップして 2024 年秋に再開業予定

本リリースのポイント

- ・ 神戸市垂水区にてアウトレットモール「三井アウトレットパーク マリンピア神戸建替え計画」が着工。
- ・ アウトレット店舗の量や質を拡充することに加え、ラグーンや明石海峡大橋等の立地環境を活かしたコンテンツを導入。従前よりもスケールアップし、2024 年秋に再開業予定。
- ・ JR 神戸線および山陽電鉄本線が交わる「垂水」駅、「山陽垂水」駅から徒歩圏内。国道 2 号からのアクセスも良好。

三井不動産株式会社(所在:東京都中央区、代表取締役社長:植田俊)は、兵庫県神戸市垂水区にて推進中の「三井アウトレットパーク マリンピア神戸建替え計画」を今般建築着工したのでお知らせいたします。なお、開業は 2024 年秋を予定しています。

本計画地は、JR 神戸線および山陽電鉄本線が交わる「垂水駅」「山陽垂水駅」から徒歩圏内であり、国道 2 号や第二神明道路「高丸 IC」「名谷 IC」からも至近の交通利便性が高い施設です。1999 年 10 月の開業以来、多くのお客様にご愛顧いただいていた「三井アウトレットパーク マリンピア神戸」(開業当時の施設名:マリンピア神戸ポルトバザール)を一時閉館し、新たに事業地として拡張したラグーン(海水を引き込んだ池)周辺の敷地を含む施設の一体的な建替え工事を行なうものです。



「三井アウトレットパーク マリンピア神戸建替え計画」メインエントランス CG

＜商業機能＞

本計画により、従前約 130 店舗だった店舗数を約 150 店舗に拡大し、国内外のファッションブランドやセレクトショップ、キッズ、スポーツ&アウトドア、生活雑貨など、幅広い店舗・ブランドをより一層充実させる予定です。

また、アウトレット棟に隣接するラグーン周辺約 21,000 m²に及ぶ敷地を事業地として拡張。明石海峡大橋を望む海沿いの景観やラグーンの親水環境を最大限活用したアスレチックやドッグラン、フォトスポット等のアクティビティゾーンを設けることで、お買い物のみならず景観を楽しみながらお過ごしいただける施設へと刷新します。

＜地域連携＞

地元企業による地場産品を使用した飲食機能の提供や地元事業者の繋がりを活かしたイベント開催により、強力な地域連携を図ります。

さらに、地域のコミュニティを創出するため、建替え前から続くコミュニティスペース「マリンピアラボ^(※)」でイベントやワークショップを多数開催します。また、ラグーン周辺の環境を活かしたレストランやBBQエリア、イベントスペースを新設し、幅広い世代のお客さまが憩える魅力的な場を創出します。

※マリンピアラボ：2019年に誕生した、地域の皆さま同士がつながり交わるコミュニティスペース。体験型のワークショップやセミナー、各種イベントなどを連日開催。



「三井アウトレットパーク マリンピア神戸建替え計画」外観CG

<添付資料①> 「三井アウトレットパーク マリンピア神戸」概要

所在地	兵庫県神戸市垂水区海岸通 12-2
交通	<車> 第二神明道路「高丸IC」2 km、「名谷IC」3 km <公共交通機関> JR 神戸線「垂水」駅 徒歩 9 分 山陽電鉄本線「山陽垂水」駅 徒歩 9 分
敷地面積	約 99,400 m ² (約 30,000 坪) ※隣接地(約 21,000 m ² (約 6,300 坪))含む
延床面積	約 74,000 m ² (約 22,400 坪)
構造・規模	鉄骨造・地上 2 階建他
店舗数	約 150 店舗(予定)
環境デザイン	ノンスケール株式会社
設計・施工	三井住友建設株式会社、株式会社東急設計コンサルタント
着工	2023 年 8 月
開業	2024 年秋(予定)

<添付資料②> 位置図

【広域図】



【狭域図】



<添付資料③> 三井不動産のリージョナル型ショッピングセンター・アウトレットモール(2023年8月時点)



青字：リージョナル型ショッピングセンター
橙字：三井アウトレットパーク

<添付資料④> 関西エリアにおける三井不動産の商業施設について

関西エリアでは 2022 年 11 月に「三井ショッピングパーク ららぽーと堺」、2023 年 4 月に「三井ショッピングパーク ららぽーと門真・三井アウトレットパーク 大阪門真」がオープンし、現在、「三井ショッピングパーク ららぽーと」5 施設と「三井アウトレットパーク」2 施設が営業中です。また、当施設の開業に先駆け、2023 年秋には「三井ショッピングパーク ららぽーと甲子園」のリニューアルを予定しており、関西エリアのお客さまにより一層楽しんでいただける施設を展開してまいります。

「Growing Together」という当社商業施設のコンセプトのもと、地域に根差し、お客さまとともに育んでいく商業施設の新しいカタチの実現に向けて、各施設での連携を図りながら、今後も様々な取り組みを進めてまいります。



三井ショッピングパーク ららぽーと甲子園



三井ショッピングパーク ららぽーと和泉



三井ショッピングパーク ららぽーと EXPOCITY



三井ショッピングパーク ららぽーと堺



三井ショッピングパーク ららぽーと門真
・三井アウトレットパーク 大阪門真



三井アウトレットパーク 滋賀竜王

<添付資料⑤> 三井不動産グループの SDGs への貢献について

https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021 年 11 月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」、2023 年 3 月には「生物多様性」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】

・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

・「グループ生物多様性方針を策定」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2023/0413/>

* 本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における 3 つの目標に貢献しています。

目標 8 働きがいも経済成長も
目標 11 住み続けられるまちづくりを
目標 13 気候変動に具体的な対策を

